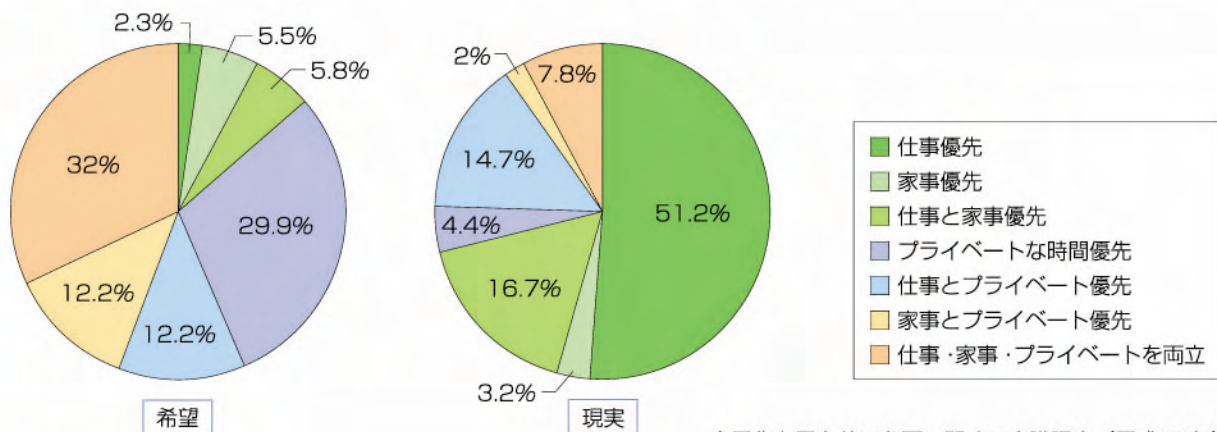


男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などに参画できる環境づくり

市民意識調査の結果、仕事が忙しく社会的活動ができない男性の割合は45.5%で、5年前の調査の33.3%を大きく上回っています。また、家庭生活における夫婦の役割分担の理想と現実を比べると、約半数の男性が炊事や子どもの身の回りの世話などを夫と妻で半々に行うことを理想としながら、実際に半々で行っている人は約1割にとどまっているという状況です。さらに、国の調査では、男性の32%が仕事・家事・プライベートの両立を希望しているにもかかわらず、実際に両立している人はわずか7.8%という結果が出ています。

男女がともに仕事・家庭生活・地域活動などにバランスよく参画できるよう、仕事と生活の調和を図るための取組を行い、仕事・家事・プライベートを実際に両立している男性の割合を32%まで増やします。

ワーク・ライフ・バランスの希望と現実（男性・既婚・有業）



少子化と男女共同参画に関する意識調査（平成18年）
男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会

具体的な推進事業

■ 雇用環境の整備と働き方の見直しの促進

- ・ 事業者を1軒ずつ訪問し、ワーク・ライフ・バランスの意義や重要性について理解を求めます。
- ・ 男女共同参画推進事業者表彰「きらり大賞」などにより事業者の顕彰を行います。
- ・ 勤労者との意見交換を行うなどして、勤労者の意識啓発を図ります。

■ 仕事と家庭生活などとの両立支援の推進

- ・ 保育ママ制度の導入など地域における子育て支援活動を充実します。
- ・ 高齢者等の介護支援を充実します。

■ 家庭生活における男女共同参画の促進

- ・ ファザーリング（父親であることを楽しむ生き方）フェスタの開催などにより男性の家庭参画を促進します。

■ 地域活動における男女共同参画の促進

- ・ 男性の地域参画を促進する講座などを開催します。
- ・ 防災活動などの地域活動に女性の視点を活かします。

■ 女性の多様なチャレンジへの支援

- ・ 女性の再就職支援のためのセミナー開催や起業支援をします。
- ・ 女性の政策・方針決定過程への参画を促進します。